

記入年月日
平成 28 年 4 月 1 日

事務事業名		森林愛護隊助成事業				事業区分				担当		
						新規/継続		継続		事務事業No.	040902000803	
政策体系上の位置付け						単独/補助		補助		所属課	050101	
政策体系	総合計画の施策名		0409		自然環境の保全		主要事業		対象外		農林課	
	政策名		04		快適で潤いのある生活環境づくり		市長マニフェスト		対象外			
	施策名		09		自然環境の保全		未来PJ事業		対象外		グループ	農林G
	基本事業名		02		環境保全に関する意識の啓発		合併建設計画事業		対象外			
財務会計上の位置付け						事業期間						
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		単年度繰返し（年度～）			
	01	06	02	01	02	00	林業総務事業		➡ 期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入			
法令根拠												

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

手 段	(1) 事務事業の概要	
	①事務事業の概要（事務事業の全体像）	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	<p>地域の自然環境保全活動を行っている森林愛護隊（緑の少年団）に対して助成を行うことで、森林愛護隊の活動をサポートし、地域の自然環境保全に努めるとともに、隊員（団員）の自然を愛する心を育成する。</p> <p>・ 1 団体：23,000円 （緑化推進機構：13,000円，市：10,000円）</p>	<p>各森林愛護隊の事業計画及び経費配分のとりまとめ→内示→補助金交付申請→交付決定→緑の少年団より市に補助金交付申請→事業実施→実績報告</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
各森林愛護隊の事業計画及び経費配分のとりまとめ→内示→補助金交付申請→交付決定→緑の少年団より市に補助金交付申請→事業実施→実績報告	団体数	団体	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
各森林愛護隊員(緑の少年団員)	隊員数	人	1,459.00	1,353.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
自然を愛し、自らの社会を愛する心豊かな人間に育てる。	活動日数	日	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移				26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	105	91	91	91	91
			一般財源	千円	70	70	70	70	70
	事業費計（A）		千円	175	161	161	161	161	
	人件費	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	
		述べ業務時間	時間	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	
		人件費計（B）	千円	174	174	174	174	174	
トータルコスト(A)+(B)			千円	349	335	335	335		

事業費の内訳	27年度事業費 実績 (千円)				28年度事業費 予算 (千円)			
	19 負担金補助及び交付金	161			19 負担金補助及び交付金	161		
			合 計	161			合 計	161

(4) 当該年度の実施内容

28年度の事業内容

29年度の事業内容

30年度の事業内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する

- ・主要事業
- ・市長マニフェスト
- ・未来PJ事業
- ・合併建設計画事業



事務事業名	森林愛護隊助成事業	事務事業No.	40902000803	所属課	農林課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 緑化推進機構との連携により、子供たちに自然とのふれあいの機械を設け、心豊かな人間に育てるために開始した。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	自然愛護活動や森林環境の活用によって、子供たちに自然の大切さを伝え、心豊かな人間に育てることができる。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	自然愛護や森林環境保全の観点から妥当である。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	補助金の範囲内で各団体は最大限の成果を上げている。
有効性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	補助金の減少によって、活動規模が縮小する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名	
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	特になし。
効率性	⑥事業費・人件費の削除余地（成果を下げずに事業費を削除できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	事業費が補助金のため、削減は活動の縮小、成果の低下につながる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	積極的に活動する団体に活動内容に見合った分の補助金を交付している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	補助内容は適正と思われる。各団体において、より有意義な活動ができるように指導していく。また、森林愛護隊が発足していない小中学校に対して、団体の発足を推進していく。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 特になし		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果	③																					
		コスト削減優先度評価結果	⑨																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）	
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出		確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認	